

## ネイティブヒトプロテインC

Cat. No. NATE-0626

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### ○明

プロテインCは、血漿中のビタミンK依存性のゼイモゲンであり、トロンビンの形成を抑制することによって血液凝固を抑制するセリンプロテアーゼです。プロテインC抗凝固<sup>□</sup>路は、トロンビンが内皮細胞のプロテオグリカンであるトロンボモジュリンに結合することで引き起こされます。この複合体は血液を凝固させることができず、プロテインCゼイモゲンの強力な活性化因子です。活性化には、重鎖のN末端ドメインからドデカペプチドが放出されることが含まれます。活性化されたプロテインC（APC）は、細胞表面のプロテインSに結合し、プロテオリシスによって凝固因子VaおよびVIIIaを不活化します。APCはまた、大血管の内皮にある受容体にも結合することが示されています。

#### 別名

PROC; プロテインC; 血液凝固因子XIVa; 活性化血液凝固因子XIV; 活性化プロテインC; オートプロトロンビンII-A; プロテインCa; APC; GSAPC; 42617-41-4; EC 3.4.21.69; PROC1

### 製品情報

#### 種

人間

#### 由来

ヒト血漿

#### 形態

20 mM Tris-HCl、pH 7.4、0.1 M NaClを含む凍結乾燥粉末

#### EC番号

EC 3.4.21.69

#### CAS登<sup>□</sup>番号

42617-41-4

#### 分子量

heavy chain mol wt 41 kDa; light chain mol wt 21 kDa

#### 純度

> 90% (SDS-PAGE)

#### 緩衝液

H2O: 可溶性 1 mg/mL

#### 代謝<sup>□</sup>路

血管壁における細胞表面相互作用、特定の生物系; 共通<sup>□</sup>路、特定の生物系; 補体および凝固カスケード、特定の生物系; 補体および凝固カスケード、特定の生物系; 補体および凝固カスケード、保存された生物系; フィブリリン血栓の形成（凝固カスケード）、特定の生物系; タンパク質前<sup>□</sup>体のガンマカルボキシル化、特定の生物系

#### 機能

カルシウムイオン結合; ペプチダーゼ活性; タンパク質結合; セリン型エンドペプチダーゼ活性

### 保管・発送情報

#### 保存方法

-20°C